

用紙のいろいろ其の1

用紙の種類	特徴	用途	適する筆記具
上質紙 コピー用紙 普通紙	科学パルプ配合率100%の洋紙 主に木材チップから製造されます。 表面強度が高く、さまざまな印刷物に使われている汎用性の高い用紙です。	コピー機 インクジェットプリンタ レーザープリンタ 印刷機 ノート 伝票	鉛筆 ボールペン
再生紙 リサイクルペーパー	地球環境に優しい、というイメージがありますが、古紙が少しでも入っていれば「再生紙」と呼ぶことができます。そのため、紙を再利用してつくられている、といってもその中にどれだけ古紙がリサイクルされて使われているかわかりにくいのです。そこで、印刷用紙として作られたリサイクルペーパーには50%以上、PPCやフォーム用紙に使われるリサイクルペーパーには70%以上の古紙を含んでいるものにエコマークをつけることができるという基準が定義されています。	コピー機 インクジェットプリンタ レーザープリンタ 印刷機 ノート 伝票	鉛筆 ボールペン
わら半紙 中質紙 更紙	明治期からは藁を原料とするパルプから製造された洋紙をさす言葉となり、藁を原料としなくなった現在は中質紙や、さらにその下級紙である更紙、あるいは再生紙をさす言葉として慣例的に使われることがある。また、わら半紙の厚手の物を黄ボールと言います。 現在では、謄写版(ガリ版)がコピー機や印刷機・プリンターが使われるようになるとインクやトナーの定着が悪く紙詰まりを起こす、わら半紙は次第に姿を消しました。	かつては、安価であることから昭和50年代初頭まで官公庁や教育現場で児童生徒に配布するプリントなどに多用されていました。	無し